



戦争体験を語る会

1月27日(火)「戦争体験を語る会」が行われました。80年前、当時小学生だった桜町校区

在住の野本弘幸さんをお招きし、実際に体験したことを語っていただきました。本年度は、学習発表会で戦争



をテーマに発表した6年生です。授業で学習したことも含めて様々な思いをもつことができました。6年生が見学した「平和公園」が日本には3つあり、広島、長崎とここ豊川だと聞き、豊川海軍工廠の空襲の悲惨さと地元豊川市民の平和を願う思いの大きさを実感しました。優しい野本さんの語り口でしたが、これからの未来もずっと、戦争のない平和な世の中を作ってほしいという強い気持ちを感じることができました。当時のことを語る人が減っていく中、とても貴重な経験をすることができました。6年生の真剣な表情が印象的でした。

《児童の感想より》

○ 80年日本が戦争をしていないのは、野本さんのような戦争を体験された方がいるからです。これからは、世界で戦争を無くしたいと強く思いました。そのために私も頑張ります。

○ この会では、戦争の悲惨さや平和の大切さを今一度強く思いました。人はなぜ戦争をして互いに傷つけあうのかぼくはすごく気になりました。

○ 授業では学ぶことができないような戦争の詳しい話が聞けてとても興味深かったです。悲惨な話が多かったけど「命を粗末にする戦争は絶対にやってはいけない」という言葉にすごく感動しました。

○ 私が一番印象に残っている話は、野本さんのお兄さんの話です。野本さんのお母さんの悲しみや、命の尊さについて心を打たれました。野本さんの世界の人が仲良くなれば世界は平和になるという気持ちを、私もいろんな人につなげていけるように頑張ります。

学校保健委員会

1月30日(金)保護者の方にも参加していただき、学校保健委員会が行われました。今年度1年間、保健委員会を中



心に行ってきた「気持ち」を考える取り組みを行いました。その中で、「気持ち」には相手の気持ちと自分の気持ちがあり、相手を思いやることの大切さと同時に、自分自身を振り返り、「自分の気持ちはどうなんだろう」と考えて



よりよい選択をしていく大切さを考えてきました。こうした活動を振り返り、さらに残り2か月「にこにこ」して過ごせるために何ができるだろうかとグループで考えました。グループの



話し合いでは、4, 5, 6年の保健委員と児童会役員、保護者の方と先生方も交えて様々な意見が出ました。たくさん出

た提案の中から、実際に実行し、桜町小学校のみんなが毎日「にこにこ」して過ごせるようになると思います。

提案されたアイデア

- ◎ ほめほめシャワーをもう一度やる
- ◎ 元気にあいさつをする
- ◎ 朝の会でくじを引いてその日に褒める人を決めて、帰りの会にみんなで褒める
- ◎ ペア学年でレクをしてしあわせのかけらを書く
- ◎ ありがとうシャワーをする
- ◎ 一日の自分の良いところを伝え合う
- ◎ 言葉遣いを考える⇒「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるようにする など

ミニ通学団会

1月29日、ミニ通学団会で「あいさつ」について話しました。次の日からあいさつをする子が増えました。意識すればできる桜っ子です。これからもどんどん広げていきましょう。元気なあいさつは笑顔になります。